

西部公民館だより

発行 西部公民館
神ノ郷町吉町田12-1
TEL:68-7233

5月実績と6月計画

日 程	事 業 名 称	実 績	備 考
5/13(土)	すこやか講座(1) 三世代グラウンドゴルフ大会	済	
5/13(土)	学区体育祭実行委員会	済	
5/20(土)	学区体育祭	済	
6/7(水)	すこやか講座(2) 健康教室		
6/28(水)	すこやか講座(3) どうする家康関係のお話		

3世代グラウンドゴルフ大会

5月13(土)西部小学校グラウンドにて3世代グラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は明け方までの降雨により開催がややぶれましたが、大会開始前には曇り空の運動するには良い天候の中で保育園児からひじり会の皆さんまで3世代、4世代の方が混じってプレーを楽しむことができました。集合写真を公民館に置きましたので参加者は持ち帰して下さい。



	子供の部	大人の部
優勝	河井愛来	足立香寿美
2位	大久保琉生	神田元治
3位	河井 聖翔	小木曾浩史



神ノ郷町自主防災訓練

5月14日(日)AM10:00より雨天の為、会場を西部公民館2階に変更して町内自主防災訓練が実施されました。

当日は消防団員、女性防火クラブのメンバー、自主防災副会長杉浦さんを講師に組織説明、災害発生時の避難場所など講話があり、その後、組長以下町内の参加者が応急処置、ロープワークの習得の為に実施訓練を行い、災害発生時の備えをおこないました。当日は前日のグラウンドゴルフ大会に引き続き、今枝衆議院議員、青山市議会議長が激励に訪れてくれました。



令和4年度 神ノ郷町決算報告

5月14日(日)に神ノ郷町役員会(組長会議)が実施され令和4年度事業収支決算が承認されました。今後とも区行政にご協力をお願いします。

目	実 績 金 額 (円)	内 訳
収 入	5,622,456	区費・受託費・助成金等
支 出	5,035,600	区団体助成金・負担金・会議費等
残 額	586,856	令和5年度への繰り越しとなります

令和5年度学区体育祭



【総代挨拶】



【準備体操】

5月20日(土)午前の部の小学校運動会に引き続き午後より学区体育祭が開催されました。当日は前日の雨の影響で早朝より先生方がグラウンド整備、テント張りなど奮闘してみえました。今回はコロナの影響を受けないフルスペックでの開催となり、これは4年ぶりです。公民館・小林館長の開会宣言に始まり大会長・永島幹啓総代の挨拶、来賓挨拶と続けました。体育祭は中学生徒のふれあい活動も含まれており、西部小卒業の中学生も大会運営に多大な貢献をして貰えました。学区体育祭は地域住民の多世代の方が触れ合える数少ない場として貴重な催しです。安心安全で住みやすい地域の為に来年もより多くの方の参加をお願いします。



【バン食い競争】



【未就学児かけっこ】



【玉入れ】



【二人三脚】

春の交通安全運動が実施されました



11日～20日まで西部地区交通安全立哨を役員にて行いました。神ノ郷地区でも人身事故が発生しているようなので、皆さん防衛運転に徹底し、事故に合わない起こさないを心がけましょう。



みかんの丘くるりんバス

4月の乗車人数は合計165人でした。1便当たり平均乗車人数は1.4人です。これから梅雨に入り、雨の日が続きます。雨の日は出かけるのも億劫になりますが、そんな日はみかんの丘くるりんバスに乗って快適にお出かけください。また、足元も滑りやすくなりますので、バスが停まったらあわてずにゆっくり乗降してください。

神ノ郷と上ノ郷

皆さん上ノ郷城は上の字で神でないのは何故だろう、とか、なぜ上ノ郷町ではないのだろうと疑問に思ったことが有る方は多数おられると思います。今回はそんな皆さんのもやもやを晴らすべく、神ノ郷と上ノ郷の変遷のいきさつについて簡単に説明しておきます。

この説の出所は公民館で保管している資料の上ノ郷 村史原稿綴より引用します。この書物は明治21年2月10日付けの文書で永島藤一郎さんを中心とした方々により書かれたようです。

この村史原稿の出だしに【上ノ郷村往古天智天皇の頃は神ノ郷村と称せしを中古より上ノ郷村と称す。】と記載されています。

天智天皇は中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）として知られ、中臣鎌足とともに曾我入鹿をクーデターで暗殺した。（大化の改新）

中大兄皇子が天智天皇として即位したのが662年のことであり、この頃は神ノ郷村と称していたこととなります。

中古とは中世と同じ意味であり、国文学界においては平安時代（794年～1185年）を指して用いています。

鵜殿氏が蒲郡に入ってきた時期は中古から、それ以降なのですでに神ノ郷から上ノ郷に変わってからになります。（参考までに）では、なぜ中古の頃に神が上ノ郷に変わったのか、聞いてみずけなさいね。村史にはこう記載されています。『神と上の誤字により変わりたる哉』もう少しそんなことがあったのかというような謂れが聞きたかったところですが、村史では誤字によりと記載されていますのでそうなのかもしれません。

では、何故又、上から神に変わったのかですが、明治22年に上から神に変わったことは書籍にてわかっています。明治22年は市町村制が導入された年にあたり、このタイミングでの変更のようですが、何故上から神に戻したかまではどこにも資料がなく不明でした。ご存知の方いらしたら公民館までご連絡下さい。皆さんのもやもやの半分くらいは晴らせたかなと思います。



（村書原稿綴）

鵜殿氏その後2

※お葉はドラマの中での呼び名であり実際の名は異なります。

先月号では柏原鵜殿の、お葉（西郡局）と家康の間に生まれた督姫が池田輝政に嫁ぎ、その子供である忠継の後見人として鵜殿長次が迎え入れられ長次の息子たちも池田家に仕えたことを記載しました。今回は西郡局から督姫その子孫の中で今上天皇への繋がりを紹介します。



柏原鵜殿長忠の養女であったお葉が家康の第1側室になり、その娘の督姫からの繋がりが今上天皇にまで繋がっていたことを皆さん知っていましたか、知っている人の方が少ないと思い紹介しました。

西郡局は鵜殿長忠の養女であり実父は家臣の加藤氏と言われています。どうする家康の中では、督姫が生まれて間もなく別れたようになっていましたが、実際は家康の関東移封に従いその後長らく家康の近くで過ごしたようです。

西郡局は慶長11年伏見城にて急死しており家康の命により池田輝政が葬儀を執り行い、京都本禅寺に葬られました。今年は西郡局没後417年になります。

話は変わって、鵜殿氏の菩提寺だった長応寺は永禄5年の上ノ郷城落城の戦火で焼失していたが、西郡局は下野郷鵜殿出身の長応寺住持日翁に帰依して多大な寄進を行い、江戸に長応寺を復興させました。江戸時代に数度の移転を繰り返し最終的に芝高輪に落ち着いています。長応寺は幕末期にオランダ公館に指定されたことで宗教活動が停止状態に陥り、明治以降も廃仏毀釈や士族の没落もありすっかり寺運衰退してしまっ。そこで寺勢挽回を図るべく法華宗が経営していた「法華宗農場」の寺院として北海道天塩郡幌延村に移転しました。上ノ郷長応寺には鵜殿家から寄進された室町時代の絵巻茶羅八軸があったが上ノ郷城落城の時持ち出され密かに岡崎の和田妙国寺に預けられました。その掛け軸は現在北海道長応寺の寺宝として保管されており、西郡局の命日法要の日年に一回限りで公開されています。

公民館からのお知らせ

「神ノ郷小唄会」の会員募集します。

お子さんからお年寄りまで、だれでも踊れます。あなたも一緒に踊りましょう。

「神ノ郷小唄」の練習をして、神ノ郷町のすばらしさに気づき、さらに、この地域を、多くの人々で盛り上げていきましょう。参加していただける方は毎月第1木曜日午後7時からの西部公民館での練習においで下さい。

・5月より新型コロナウイルスが5類に移行されたことに伴い、公民館内における各種規制が変更されています。引き続き検温器などはそのまま設置してありますが必須ではなくチェックしたい方のみ検温して頂ければ結構です。飲食も可能になります。